

## （「2004 年大和さくらい万葉まつり」開催される）

9月11日、「2004年大和さくらい万葉まつり」（主催：大和さくらい万葉まつり実行委員会、後援：桜井市・奈良県など）が開催された。3年前から桜井市金屋河川敷公園を会場にしており、今年は約18,000人が訪れた。

古代の金屋は、大阪から大和川を遡ってくる川船の終着地で、各地につながる道の分岐点となっており、日本最古の「海石榴市（つばいち）」が開かれた。7世紀初頭、隋の使節を伴う小野妹子ら遣隋使の帰国を朝廷が迎えた地としても知られる。

現代版「海石榴市」は、よしず張りで統一したブースで桜井の地場産品、伝統工芸品、木工品、食べ物などを販売。また、古代衣装に着替えて記念撮影するブースもあった。

夕刻からは、初瀬川に手作りの燈籠を流す「歌垣火送り」が、幻想的な風景をかもしだした。この燈籠は、木材の町桜井にふさわしく、桧の底板にローソクを載せ、桧の薄皮で周りを囲むという作りとなっている。

エンディングは、初瀬川の中に設営された川舞台で、『伝承・心のコンサート』チン・ウェイチンさんの琵琶演奏、ワン・チェンさんの二胡演奏が行なわれた。

今回の最大の特徴は、ゴミの減量を図るために、現代版「海石榴市」内の飲食店に食器ディポジット（保証金）制を導入し、専用のプラスチック製リユース食器のみを使用したことである。

食器ディポジットは、①主催者が出店者にリユース食器を貸出し、食器1個あたり100円の保証金を受取る。②出店者は、商品価格に食器分の100円を上乗せして販売する。③消費者はリユース食器を会場内の食器回収所へ返却し、食器の代金として100円を受け取るというもので、100円が還流する仕組みとなっている。

この仕組みを利用することにより、食器はほとんど回収されてゴミが減量され、最後に残飯を除

いた食器は業者に返却することが可能となる。

実行委員会環境部会長の泉谷さんは、「県下の種々のイベントでもこの食器ディポジット制を利用すると、ゴミの減量に役立つものと思われる。また、消費者は食器を返却時に受け取った100円を次の買い物に利用するので、売上高は昨年比かなり増加したという相乗効果もあった」と述べている。

（上田）



現代版「海石榴市」の販売ブース



「歌垣火送り」